

第1回 森と海のフェスティバル

平成10年6月21日、青森市安方のベイブリッジ下において、林業・漁業関係者の相互理解を深め、“森と海のつながり”を一般の人にも知ってもらおうと「第1回森と海のフェスティバル」が開催されました。

このイベントは、昨年青森県漁業士会の東青支部と青森県グリーンマイスター協議会とで共同開催したものが、今年度から県の事業となり、県漁業士会も主催者の一人となったものです。

イベント当日は、好天にも恵まれ、開会から大勢の家族づれで賑わい、3千人を超える来場者を迎えることができました。

水産関係の紹介をすると、産直販売コーナーでは、活ホタテ、ヒラメ・マダイの活魚類、イカナゴ干物等を浜値相当で販売し、閉会前に売り切れる程好評でした。また、釣り堀コーナーやふれあいコーナーでは、水槽を大勢の子供たちが取り囲み、目を輝かせ歓声をあげていました。そして、無料ホタテ炭火焼コーナーでは、試食用のホタテが品切れとなるまで試食をする人で溢れ、イベントの集客に大いに役立っていました。

青森市開催ということで、企画・運営をはじめ全てを東青支部の漁業士の皆様に頑張ってもらいました。お疲れさまでした。



専技コーナー

本誌の役割について

水産業専門技術員

早川 豊

現在、県漁業士会には132名（青年漁業士75名、指導漁業士57名）の漁業士が在籍し、県内各地域で活躍しています。本誌では漁業士の皆さんの活動状況・体験談・意見を紹介したり、県内外の浜の情報、新技術等役に立つ情報を掲載していく予定です。また、漁業士の皆さんの活躍を広く知ってもらうため配布先は各方面にと考えております。本誌に楽しい記事を載せるためには、地域を熟知している漁業士皆さんの参画・協力が絶対に必要です。事務局では各支部の記者を募集しますので自薦・他薦よろしくお願ひします。

本誌の役割は漁業士の存在を広く知ってもらうこと、漁業士間の連携を強めることですが、事務局の最大の目的は眠れる漁業士を動かす起爆剤にできたらと願っています。

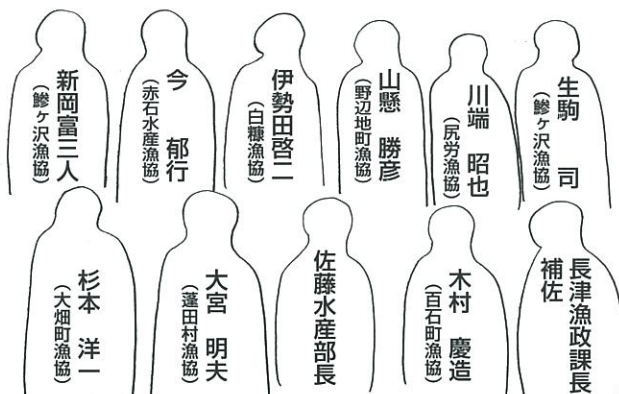
青年漁業士講座

平成10年7月28日～31日の4日間、青森市の青森港湾労働者福祉センターにおいて「平成10年度青森県青年漁業士講座」が5年ぶりに開催されました。

受講生は、24歳の若者を先頭に、三八地区1名、下北地区4名、青森地区1名、日本海地区3名の計9人で、全員が寝食を共に4日間過ごしました。

昼間の研修は、県の取り組みや漁業を取り巻く現状等難しく肩のこるような内容のものが多かったものの、夜は青森の歓楽街がすぐ近くとあって元気な人達は、毎晩出掛けていたと聞いています。それでも昼間の講義中に居眠りする人はなく、皆さんの意気込みが感じられました。

12月に行われる認定委員会で全員が晴れて漁業士の仲間入りをされる日を楽しみにしています。



支部とびっくあ

日本海支部

- 1) 会員：南から、中村利男、石沢英雄、神馬達雄、斉藤光秋、舟木康彦、山下幸彦、根上定男、今弘樹、石岡清美、八木沢健一、小山内実、斉藤幸市、村上秀雄、小倉広起、須々田誠政の15名（来年は3名増員予定）。
- 2) 予算：15会員×@15,000、12漁協×@10,000~5,000、6町村×@20,000の合計45万円+α。
- 3) 平成10年度総会で話し合った主な内容：
 - ①支部管内の旅費・日当は原則としてカットする
 - ②漁村青年協議会との交流を図る
 - ③海洋学院の講師を積極的に引き受ける
- 4) 会員相互の理解を深める工夫：県・支部の事業、会議内容を関係者（15会員、12漁協、6町村）できるだけ早く・詳しく知らせ、情報の共有化を図る。平成10年度は、8月20日現在
No1「漁業士募集及び平成10年度の普及員の配置」他について、
No2「平成10年度漁業士会通常総会」及び「緑の船事業」他について、
No3「普及所だより日本海第1号」及び「水産だより148号」他について、
No4「平成10年度青森県漁業士会通常総会の結果」他について、
No5「平成10年度青森県青年漁業士講座の開催」他について、
No6「平成10年度青森県漁業士会日本海支部総会の開催」他について、
No7「平成10年度青森県漁業士会日本海支部総会」他について、
No8「平成10年度日本海支部会費納入」及び「平成10年度青森県漁業士会第1回役員会の結果」他について、
の情報を適宜関係者に流しています（事務局）。

むつ支部

- 9月6日(日)むつ市まさかりプラザイベント広場において、第5回「**豊漁・豊作祈願祭**」が好天のもと盛大に開催されました。
- イベントに先立って行われた式典では、青森県水産部長はじめ、むつ下北地区の各漁業協同組合長他、多数の関係者と漁業士と農業士が参加し、豊漁豊作のための神事が行われました。
- 「豊漁・豊作祈願祭」では、新鮮な野菜や魚介類の即売、もちつきやちゃんちゃん焼きの無料試食、会場内が一体化したピンゴゲーム、また野菜・魚介類のオークションの他、楽しい歌謡ショーも行われ、数多くのお客様で会場は大盛況でした。
- また、同時に開催したAMLS協議会による海難遺児募金活動や、青森県漁場監視団連合会による密漁防止キャンペーンなど、この「豊漁・豊作祈願祭」を通じて私達の活動をむつ下北地域の方々に広く知らせることができました。
- ご協力をいただいた関係者の皆様方の温かい支援に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



三八支部

- 海中造林によるウニ身入り向上
南浜漁協白浜部会（代表・荒木田指導漁業士）ではウニの生産向上のため、今年も海中造林コンブ・ワカメを漁場投入し、ウニに食べさせるという取り組みが行われています。こうした取り組みは階上漁協大蛇部会、追越部会でも行われています。



三八漁業士会総会

- 三八漁業士会総会が6月10日に開催されました。今回は今年度の活動計画などの議題が中心でしたが、漁獲物の価格向上のために漁業者はどう取り組むべきか等についても積極的な討議が行われました。



東青支部

- 「地球環境保全の森」記念植樹
東青漁業士会では去る5月23日（土）に青森市後潟の国有林において開催された「地球環境保全の森」記念植樹に参画し、植樹を行った。
- 青森県緑化推進委員会の主催で開催されたこの植樹の目的は、地球温暖化などに伴い環境の保全が大きな問題となり、次代を担う漁業、林業の両後継者が共に記念植樹を行い、森林、緑化に対する理解を深めてもらうことであった。
- 当日は晴天の下、当漁業士会と青森県グリーン・マイスター協議会（葛西理事長）、また両会の家族も参加し笑い声が響く中、普段は山中に足を踏み入れることのない会員も額に汗を浮かべ約1時間ほどで0.2haに約500本の広葉樹（クリ、ミズナラ）を植えた。
- 終了後、昼食にホタテの貝焼きや豚汁が用意され参加者は満腹になるとタケノコ、ミズを採り、営林署職員から薬用植物や森林の働きについて説明を受けながら付近の散策をした。今回植樹したこの山の100年後が楽しみである。



新役員紹介



副会長 福田 隆一 (平内町漁協)
 漁業士の認定を受けて10年を過ぎましたが、未だ漁協に必要とされていないのが残念でなりません。私達の努力も足りませんが、私はその存在を認めてもらうために今から漁業をやめた時にやっぱり漁業士だったんだなと言われるように努力しております。



新任
理事 荒木田政信 (南浜漁協)
 毎日の仕事は二つある。一つは、朝4時から刺網漁の楽しみ、二つは、児童館へ出勤、漁業士の活動、交流会には数多くの参加を勧んで希望する。



理事 根上 定男 (大戸瀬漁協)
 私は底建網漁業を主体に営む専業漁家です。県内各地区の漁業士達と積極的に意見、情報交換を行い、漁協、市町村の水産関係者の御指導を頂きながら、漁業経営の安定を目指して行きたいと思っております。



新任
理事 畑中 道安 (むつ市漁協)
 日本国民のみな様もっとホタテを食べよう。もっと魚を食べよう。



新任
監事 船橋 正彦 (平内町漁協)
 今年度県漁業士会の役員に選任されました。今後は、漁業士会の発展と漁業の振興に努めてまいりたいと思っておりますので宜しくお願いします。



会長 山口 隆治 (後潟漁協)
 漁業士として認められるよう努力して事業にはげみましょう。



新任
副会長 金田一善唯 (易国間漁協)
 小型定置網をやっています。私は研究会活動として、みんなが豊かに生活できる漁業を目指して、コンブ・アワビ・ウニの養殖に取り組んでいます。若輩の私ですが、これからよろしくお願ひします。



理事 奥川 三治 (関根浜漁協)
 関根浜の奥川です。底建やってまーす。よろしく。



新任
理事 坂岡 政彦 (三沢漁協)
 浜風発刊誠にありがとうございます。私はおもに、昼イカ釣りをしています。県総会など出席できぬこと多数ですが浜風が、漁業士会の良き連絡窓口になる事を期待します。



新任
監事 小笠原清春 (尻労漁協)
 むつ支部会2月の改選総会で大きな功績を残した川端会長の後を継ぐことになりました。精一杯頑張るつもりでおりますので前会長同様御支援のみます。尻労に寄る事がありましたら声をかけて下さい。何かいい事があるかも？



監事 小山内 実 (鯉ヶ沢漁協)
 冬はヤリイカ、夏は平目の底建網をしている。時間に少し余裕があるので漁業士の会合に出席する。様々な人の話しが聞ける、話せる。これがとても楽しい。

編集後記

皆様のご協力により無事第1号を発刊することができました。次号からはより一層漁業士の方々の情報を取り入れていきたいと思ひます。各地の特派員のあなた、情報をお待ちしています。

連絡先 : むつ支部 0175-22-8626
 三八支部 0178-27-5858
 東青支部 0177-74-0772
 日本海支部 0173-72-4300
 県本部 0177-34-9587